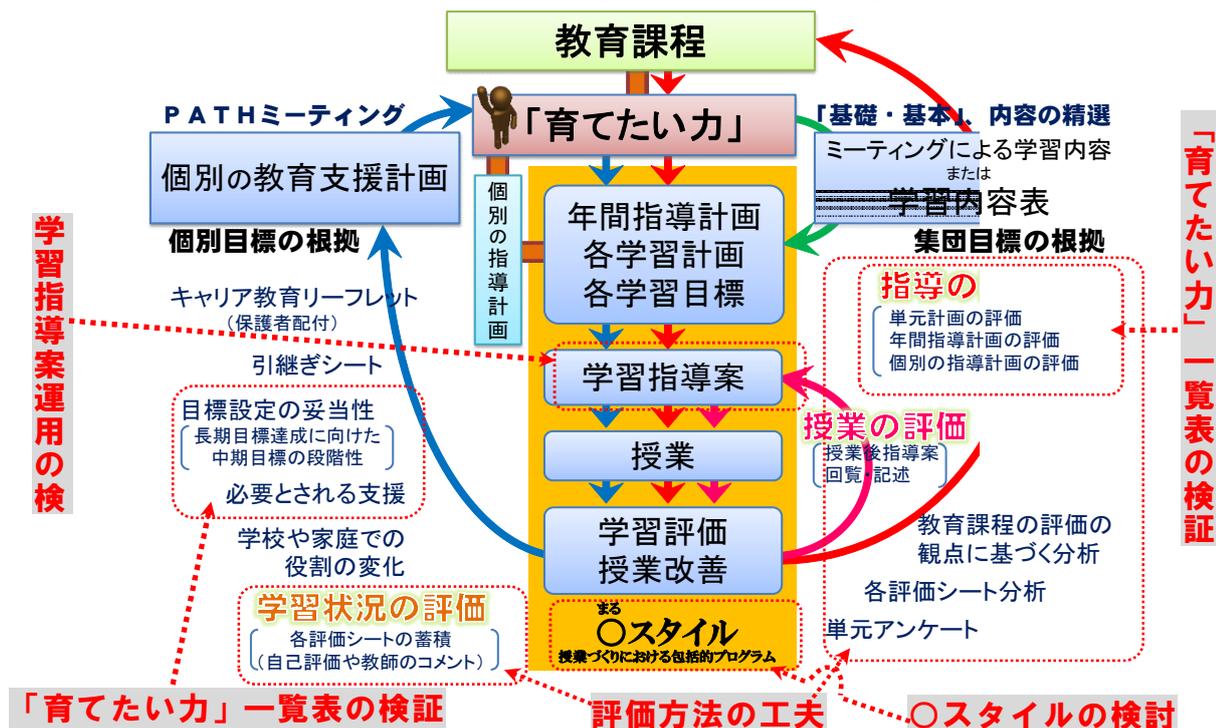


5 研究の方針

ARA・SHIの教育プログラムとは、児童生徒に最適な教育を行うための指導内容及び指導方法であり、「いつ」「なにを」「どのように」をキーワードにして個々の児童生徒の教育的ニーズに応じる具体的な教育活動を設定するというものです。そこで、ARA・SHIの教育プログラムの概要を定め、以下の4つの視点で研究の位置付けを示しました。

ARA・SHIの教育プログラムの概要図



- (1) 学習内容を精選し、「Oスタイル」を運用する。
 年間指導計画および各学習計画を作成し、授業改善PDCAが適切に機能しているかを、学習グループごとの包括的な授業づくりツール「Oスタイル」を策定・運用し、実践をとおして成果と課題を明らかにします。
- (2) 学習指導案の運用プロセスを明らかにする。
 生活や社会、将来の観点から必要とされる知識、技能や態度を想定した上で、児童生徒に身に付けさせたい「育てたい力」を設定し、その目標設定と学習活動、目標達成のための必要な支援が結び付いた学習指導案を運用します。
- (3) 「育てたい力」一覧表の検証と適切な指導及び必要な支援の充実を図る。
 「育てたい力」一覧表を基に目標設定し、学習上又は生活上の困難を改善・克服するための適切な指導及び必要な支援の充実、体系的な学習評価の推進を図ります。また、教育課程の改善の根拠を得ます。
- (4) 個々の児童生徒に確かに「育てたい力」が身に付く評価方法を工夫する。
 各学習グループ（小学部一般学級、中学部一般学級、高等部一般学級、小・中・高重複障がい学級）における研究会（以下グループ研究会）や一人一事例研究で蓄積してきた評価方法を整理し、深化を図ります。